

「北海道アウトドア活動振興推進計画」関連施策の実施状況

1 「北海道アウトドア活動振興推進計画」の概要

I 計画の性格

「北海道アウトドア活動振興推進計画」（計画期間 平成25～29年度）は、「北海道アウトドア活動振興条例」（平成13年10月公布）第7条第1項の規定に基づき、アウトドア活動の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進するために、平成19年度に策定した第2期の同計画（計画期間 平成20～24年度）に次ぐ第3期の計画として、今後5年間のアウトドア活動の振興に向けた道の施策の方向性を明らかにする計画として、平成25年5月に策定したものの。

II 施策推進の視点

アウトドア活動の振興施策の推進にあたっては、次の視点に立って、道民の理解を深めながら、アウトドア活動の振興に関する施策を総合的かつ計画的に推進する。

- ・人と自然との共生
- ・地域に根ざした個性豊かな人材の育成・確保
- ・北海道らしいライフスタイルの形成
- ・アウトドア活動の振興に資する産業活動

III アウトドア活動の振興施策の基本方向及び展開方向

アウトドア活動の振興施策については、次の5つの基本方向と13の展開方向に分類し、施策を推進する。

- 1 アウトドア活動に対する理解の促進
 - ①アウトドア活動に関する情報の提供
 - ②学習の機会の提供
- 2 アウトドア資格制度によるガイド及び事業者の育成等
 - ③アウトドアガイドの育成
 - ④アウトドア事業者の育成
 - ⑤アウトドア活動指導者の育成
- 3 自然とふれあう場の保全
 - ⑥マナー・ルール等の普及啓発
 - ⑦生物多様性の保全
 - ⑧産業活動等との調和
- 4 自然とふれあう場の確保、機会の提供
 - ⑨自然とふれあう場の確保
 - ⑩自然とふれあうための条件整備及び機会の提供
- 5 体験型観光の推進
 - ⑪地域の特色を生かした魅力ある商品づくり
 - ⑫受入体制の整備
 - ⑬体験型観光の宣伝・誘致

IV 推進管理

アウトドア活動を巡る情勢の変化等に対応した的確な施策の展開を図るとともに、振興推進計画に基づく施策の推進状況を把握し、施策への反映に努める。

2 関連施策の推進状況

本計画の施策体系に沿った関連施策の平成25年度から28年度における主な取組状況は次のとおり。

1 アウトドア活動に対する理解を促進

- ①アウトドア活動に関する情報の提供
- アウトドア活動振興環境整備事業費

北海道アウトドア資格制度の運営を通じ、アウトドアガイド・事業のほか、地域に根ざした人材の育成・確保を図るなど、より多くの道民が参加しアウトドア活動を支える基盤づくりを推進。

28年予算額	532千円
27年予算額	568千円

26年予算額	639千円
25年予算額	644千円

○北海道体験型観光活性化事業

道内外へアウトドア活動等の体験型観光に関する様々な情報提供を行うとともに、体験型観光事業者と旅行会社・メディア等のマッチングを行う商談会等を実施。

28年予算額	20,235千円
27年予算額	19,504千円
26年予算額	19,323千円
25年予算額	20,755千円

○森の癒やし効果の普及促進事業

森林セラピーなどの森の癒やし効果の普及促進と観光資源としての活用に向け、ホームページ等による情報提供を実施するとともに、各森林室で実施している森林体験活動プログラム等において、「森の癒やし効果」体験を実施。

予算額	0円
-----	----

②学習情報の提供

○ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）事業費

市町村や教育関係機関、各種団体等で実施している野外活動や自然体験活動等を道民カレッジの連携講座に登録し、道民に広く情報提供を実施。

28年予算額	34,073千円
27年予算額	36,310千円
26年予算額	36,747千円
25年予算額	38,232千円

○青少年体験活動支援施設維持運営費

恵まれた自然環境の中で、集団宿泊生活・野外活動・ボランティア奉仕体験活動等の体験を通して、青少年の豊かな情操や社会性を培い、心身の健全な育成を図る。

28年予算額	340,610千円
27年予算額	344,082千円
26年予算額	341,062千円
25年予算額	391,195千円

2 アウトドアガイド等の育成

③アウトドアガイドの育成

- アウトドア活動振興環境整備事業費【再掲】
- 北海道体験型観光活性化事業【再掲】

④アウトドア事業者の育成

- アウトドア事業者の育成
 - アウトドア活動振興環境整備事業費【再掲】
 - 北海道体験型観光活性化事業【再掲】
- アウトドア事業への創業、経営の支援
 - 中小企業総合振興資金貸付金

中小企業者等の経営基盤の強化、事業の活性化を図り、本道経済の発展に資するため、金融機関に原資を預託して、中小企業者等に対する融資を促進。

28年予算額	126,537,000千円
27年予算額	103,561,800千円
26年予算額	122,377,300千円
25年予算額	143,570,100千円

⑤アウトドア活動指導者の育成

- ボランティア・レンジャーの育成

○ 開拓記念館費（管理運営費）

全道各地で開催される自然観察会等において、道民と自然との橋渡し役となる「ボランティア・レンジャー」の育成を行う。※ 指定管理負担金の一部

28年予算額	345,748千円
27年予算額	343,200千円
26年予算額	337,020千円
25年予算額	332,900千円

➤ 遊漁指導員の育成

○ 遊漁調整総合対策事業

漁業者や地域住民とのトラブルを未然に防止し、漁業の安定的な発展と遊漁の健全なレジャーとしての定着を図るため、資源保護、漁場利用調整に係る各種取り組みやルールやマナーの普及啓発活動を実施。

28年予算額	5,946千円
27年予算額	6,217千円
26年予算額	7,711千円
25年予算額	9,857千円

3 自然とふれあう場の保全

⑥ マナー・ルール等の普及啓発

○ 遊漁調整総合対策事業【再掲】

⑦ 生物多様性の保全

➤ 自然公園等のすぐれた自然環境の保全

○ 自然公園等整備費（自然公園美化活動推進事業費補助金）

自然公園のすぐれた風致景観の維持を目的とし、総合的な美化活動を推進するため、メニュー選択方式の補助制度を実施し、道の責務として清掃活動を支援するほか、適正利用のためのマナー普及やボランティアの活用などを奨励し、地域の主体的な取り組みを推進。

28年予算額	2,806千円
27年予算額	2,908千円
26年予算額	3,851千円
25年予算額	3,969千円

○ 自然環境保全費（自然環境保全監視費）

各自然公園や鳥獣保護地区等の保護管理、利用者や狩猟者の指導及び希少種の保護監視等を行うため、自然保護監視員等を配置。

28年予算額	35,801千円
27年予算額	37,451千円
26年予算額	38,682千円
25年予算額	39,072千円

○ 自然環境計画推進費（自然公園計画策定費）

すぐれた自然の風景地を保護し、かつ利用の増進を図り、さらに動植物や地質などの自然を学ぶ場としての活用を図るため、自然公園法等に基づいて指定される自然公園のうち、北海道が管理する国定公園及び道立自然公園について、保護又は利用の規制、施設等を定める公園計画の点検作業を実施。

28年予算額	637千円
27年予算額	679千円
26年予算額	905千円
25年予算額	1,006千円

➤ 鳥獣保護区の指定等

○ 野生鳥獣保護管理対策費（鳥獣保護対策推進費）

野生鳥獣の適切な保護管理を行うため、鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律及

び第 11 次北海道鳥獣保護管理事業計画に基づき、鳥獣保護区等の指定及び標識等の整備を実施。

28 年予算額	1,482 千円
27 年予算額	1,558 千円
26 年予算額	1,737 千円
25 年予算額	2,053 千円

➤ 希少野生動植物種の保全

○ 自然環境計画推進事業費（生物多様性保全推進費）

※希少野生動植物保護対策費：高山植物保護対策費

高山植物の踏みつけや盗掘の防止など、高山植物保護に対する道民の関心と理解を深めるため、北海道警察や地元関係機関、民間団体等と連携を図り、監視パトロールを実施し、高山植物保護対策を推進。

28 年予算額	92 千円
27 年予算額	92 千円
26 年予算額	150 千円
25 年予算額	238 千円

➤ 外来種による生態系等への影響の低減

○ 自然環境計画推進事業費（生物多様性保全推進費）

※外来種対策推進事業：外来種防除推進

本来の移動能力を超えて、国内外の他の地域から人為によって、意図的あるいは非意図的に導入された生物種、いわゆる「外来種」による生態系等への悪影響を防止するため、影響を及ぼしている種の根絶等の対策を推進。

28 年予算額	7,019 千円
27 年予算額	7,665 千円
26 年予算額	10,873 千円

➤ 知床世界自然遺産の保全

○ 知床世界自然遺産保全対策費(知床地域自然環境保全管理費)

知床世界自然遺産地域適正利用・エコツーリズム検討会議において決定（平成 25 年 3 月決定）された「知床エコツーリズム戦略」に基づき、知床の原生的な自然にふさわしい新たな利用の方法やルール等について検討を進めるため、地域関係団体及び関係行政機関による会議等に参加。また、登山のマナーに係る普及啓発を行うため、携帯トイレ利用の呼びかけリーフレットを作成。

28 年予算額	7,698 千円
27 年予算額	8,967 千円
26 年予算額	9,244 千円
25 年予算額	9,682 千円

⑧産業活動等との調和

○ 遊漁調整総合対策事業【再掲】

4 自然とふれあう場の確保、機会の提供

⑨自然とふれあう場の確保

➤ 豊かな森林とふれあう場の確保

○ 道民との協働の森づくり推進事業費

道民と森林との豊かな関係を構築し、森林づくりを社会全体で支える機運を醸成するため、「木育」の理念を基本とした各種取組を実施。

28 年予算額	20,383 千円
27 年予算額	26,264 千円
26 年予算額	31,859 千円
25 年予算額	35,554 千円

○ 道立の森維持運営費

多くの道民が森林と親しみ、森林を知り、その恵みを受けることによって自然とともに生きる力

を培うことを目的に設置された道民の森の維持管理（H26～指定管理者による施設管理）を実施。

28年予算額	191,442千円
27年予算額	191,838千円
26年予算額	190,928千円
25年予算額	443,619千円

- 森と木が育む子ども健やか環境づくりプロジェクト事業費（「エコ・チャレンジの森」推進事業費）
道民の森を訪れる親子連れや、道民の森における森林環境学習プログラムに参加する児童・生徒が気軽に森林づくりに取り組むことができる「エコ・チャレンジの森」（道民の森神居尻地区）において、植栽樹木の保育管理を実施。

28年予算額	168千円
27年予算額	550千円
26年予算額	1,244千円
25年予算額	1,440千円

➤ 自然体験型のレクリエーション施設の整備

- 道立都市公園管理費

自然とふれあえる広域レクリエーションの拠点として整備された道立都市公園の維持管理を実施。

28年予算額	587,701千円
27年予算額	585,872千円

- 都市公園等事業費、道立都市公園整備費

自然とふれあえる広域レクリエーションの拠点として整備した道立都市公園について、利用者が安全に安心して利用出来るよう、老朽化した公園施設の補修、改築、更新等を推進。

28年予算額	595,603千円
27年予算額	755,028千円

➤ 国立・国定公園や道立自然公園における利用施設の整備

- 自然公園等整備費（自然公園施設整備費）

国立・国定公園及び道立自然公園の優れた風景地の保護と利用者の安全や快適な利用を推進するため、自然公園施設の整備等を行うとともに、老朽化した道有施設の補修改良を実施。

28年予算額	290,896千円
27年予算額	357,739千円
26年予算額	29,843千円
25年予算額	40,784千円

- 自然公園等整備費（野幌森林公園管理費）

道立自然公園野幌森林公園内施設の維持管理や、安全な利用促進のための巡視を実施。

28年予算額	13,198千円
27年予算額	13,493千円
26年予算額	13,984千円

- 自然公園等整備費（国立公園満喫プロジェクト関連経費）

国立公園満喫プロジェクトに選定された阿寒国立公園において、プロジェクト推進のため、阿寒湖畔地区、摩周地区で道有施設の案内標識の多言語化、トイレの洋式化、バリアフリー対応施設への改修を実施。

28年予算額	440,000千円
--------	-----------

⑩自然とふれあうための条件整備及び機会の提供

➤ 森林とふれあう機会の充実

- 道民との協働の森づくり推進事業費【再掲】

- 道立の森維持運営費【再掲】

- 森と木が育む子ども健やか環境づくりプロジェクト事業費（「エコ・チャレンジの森」推進事業費）【再掲】

➤ エコツーリズムの推進

- 知床世界自然遺産保全対策費(知床地域自然環境保全管理費)

➤ グリーン・ツーリズムの推進

○ 観光地づくり推進費（北海道教育旅行活性化事業）

地域観光全般の受入体制構築にも繋がる教育旅行の誘致を図るとともに、少年期において北海道に慣れ親しむことによる将来的な北海道旅行のリピータ確保を促進。

28年予算額	40,101千円
27年予算額	30,493千円
26年予算額	17,314千円
25年予算額	19,801千円

➤ 身近な自然と親しむ機会の確保

○ 道立都市公園管理費【再掲】

○ 都市公園等事業費、道立都市公園整備費【再掲】

○ ほっかいどう生涯学習ネットワークカレッジ（道民カレッジ）事業費【再掲】

➤ 自然と親しむ野外体験活動の機会の充実

○ 青少年体験活動支援施設維持運営費【再掲】

○ 農業・農村コンセンサス形成総合推進事業費

農業・農村の役割や多面的機能についての理解を促進。

- ・「ふれあいファーム」（都市と農村の交流に取り組む農場）が実施する農作業、加工体験の取組などに対する補助
- ・農業者と農業関係以外の団体が連携して取り組む農作業体験などに対する補助
- ・マスメディア等を活用した取組に対する補助
- ・農業・農村情報誌の発行

28年予算額	13,016千円
27年予算額	13,187千円
26年予算額	13,365千円
25年予算額	13,423千円

5 体験型観光の推進

①地域の特色を生かした魅力ある商品づくり

○ 北海道体験型観光活性化事業【再掲】

○ 観光地づくり推進費（北海道教育旅行活性化事業）【再掲】

○ 観光地づくり推進費（着地型観光魅力づくり推進事業）

・ 地域観光活性化促進事業

本道が誇る、自然・食のほか、歴史・文化・産業など地域の特性を生かした観光資源の掘り起こし・磨き上げを、地域の観光従事者とともに行う観光商品づくりの取組を支援。

・ 広域観光推進事業

地域経済の活性化のため、複数の市町村を含む広域的な観光地が連携して魅力ある観光地づくりを推し進める取組に対し支援するとともに、従事するスタッフの企画力・運営力の強化のためのアドバイスも同時に行いプロモーションまで一環した支援を実施。

28年予算額	123,880千円
27年予算額	107,219千円
26年予算額	76,176千円
25年予算額	38,427千円

②受入体制の整備

○ 北海道体験型観光活性化事業【再掲】

○ 観光地づくり推進費（北海道教育旅行活性化事業）【再掲】

○ 観光地づくり推進費（着地型観光魅力づくり推進事業）【再掲】

○ 自然公園等整備費（国立公園満喫プロジェクト関連経費）【再掲】

③体験型観光の宣伝・誘致

○ 北海道体験型観光活性化事業【再掲】

○ 観光地づくり推進費（北海道教育旅行活性化事業）【再掲】